

第 59 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 4 年 7 月 27 日(水)午後 10 : 30～11 : 30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 3 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、安達克典、吉田光利、

欠席委員の氏名 森下憲一、小倉拓、橘智史

放送事業者側出席者氏名 泉清、生田奈穂

リモート参加 安田豊、角田圭三

欠席者氏名 洞周作、大崎健志、濱田由希子、安田正

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

☐番組聴取

6 月 14 日(火)の「夕焼けワクワクたなべ」内で放送した「MR 空港
体験実験の中継レポート」と、7 月 19 日(火)に放送した特番「夏の
4 時スク！コラボ祭り～What's 海上保安庁～」のダイジェストを
聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：本日はありがとうございます。雰囲気の良いところから用心のタイミングに入ってきたというところです。局としては今年は元気良く色々な事が進むかなと思いましたが、ここにきて事情に合わせて活動が減らないようにと思っている最中です。これから弁慶まつりや花火なんかのイベントもありますので開催されることを祈っています。それに合わせてラジオの放送も準備をしておりますので無事に出来ればと思っています。よろしくお願いします。

2. 議題

～番組聴取～

(6月14日(火)に放送した「夕焼けワクワクたなべ」内で放送した「MR空港体験実験の中継レポート」について)

野村：こういうことをやっているというのは知りませんでした。しかしレポートを聴いているとどんな様子なのかはわかりましたね。

安達：ゴーグルのようなものを着けているのですかね。

泉：メガネのようなものですね。

吉田：VRのようなゴーグルみたいなものとは違うんですね。

泉：ヴァーチャルの場合は全部を仮想にしてしまうのですが、複合はミックスされていてメガネのような中の映像と現実世界が透けて見える感じです。

安達：こういう技術はいろんな分野で展開されていて、たとえば病院とかでは実際お医者さんもゲームして育ってきた方は対応出来るけど、いきなりこれをやれと言われたら出来にくいという話を聞いた事があります。

泉：慣れですかね。

安達：VRの方もそうだけど、このMRの場合は映像で酔うような事もあったのかそういった感覚も知りたかったですね。

安田：酔いに関しては、現実の世界が見えているのでMRの場合は大丈夫だと思います。あと医療の話がありましたが、正しくその通りで手術される時に実際に患者さんの体を見ながらそこにいろんな指示をしてくれるという事がすでにいくつか実用化されているようで、ミスが少なくなると聞いています。それから今回は白浜空港でしたが、田辺湾の事業構想や熊野古道などでMRの技術を駆使した応用

例が出てくるのではないかと期待しています。

吉田：MR というのは僕も初めてでしたが、自分も体験してみたいなと聞いていてワクワクしました。空港だけでなく、空とか海の中とかいろんな体験がこれからどんどん出来るようになるのかなという期待感も生まれました。

生田：インタビューの中でもありましたように、将来的には一般の方にもこのような空港見学が出来るように目指しているとおっしゃってましたので白浜空港がどんどん進化していくのが楽しみです。

安達：岡田社長頑張っていますね。

野村：そうですね。空港内がガラッと変わったと言われているですね。

(7月19日(火)に放送した特番「夏の4時スク！コラボ祭り～What's 海上保安庁～」のダイジェストについて)

吉田：学生さんのおしゃべりが楽しくていいですね。「船酔いする人はどうするんですか？」という質問も高校生ならではの面白い質問だなと感じました。僕の知り合いでも船酔い酷い人がいて何人か見てきましたが、慣れるんやなという勉強にもなりましたし元気があっていいなと思いました。

安達：高校生がはっきりしゃべるので聞き取りやすいですし、気持ち

がいいですね。元気がもらえて良い番組だと思います。海上保安庁本庁の広報担当の方は、話題に出ていましたドラマ DCU の担当もされていた方なので良い人が出演されていますね。

野村：海上保安部と海上自衛隊の違いも気になるところです。

安達：こういう番組を通して若い人たちへの職の広報的な、地元就職していただけるきっかけになるのかなと。Uターンフェアや合同説明会などのイベントも開催されていますが、それだけではなかなか難しいところも地元の高校生の就職するきっかけの窓口はこの番組がなれたら良いなと思いますね。

泉：知らないことには目が向けられないですからね。

生田：今後もシリーズ化して、いろんな職種で企画していけたらと考えています。

安田：高校生の番組を通していろんな職業を知ってもらって就職に繋がってくれると有難いですし、今回女性の高校生も出てくれましたが海上保安庁も女性の方も増えていると聞いています。そういう意味ではきっかけ作りとして FM TANABE が貢献できると良いなと思いました。

3.その他番組への質問・意見

特になし

4.今後の放送に対する意見・要望

特になし

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月 日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし